

ソロチェアアンパイア

ソロチェアアンパイア（SCU）方式は主審ですが、ふつうの主審がついた試合とも、セルフジャッジの試合とも少し違います。

まず、テレビで見るような、ふつうの試合とちがうのは、ラインパーソンの代わりに選手がジャッジすることです。選手はセルフジャッジとおなじく、ネットより自分側のコートのジャッジをします。

そしてセルフジャッジの試合とちがうところは、選手がイン、アウト、をジャッジするのですが、あきらかにまちがったジャッジをしたときは主審が訂正できます。例えば、「アウト」と選手がいったボールがあきらかにコート内に入っていたら、主審は、それを「イン」にできます。試合では、「今の入っていたよ」というかわりに、「コレクション、ボールフズグッド」といいます。

SCUがついた試合の良い点は、ほとんどの選手が、主審にオーバールールされないようきちんとジャッジをするので、選手どおし、おたがいに気持ち良くプレーできることです。

1) 試合の始まる前に 両方の選手の名前を確認して、以下のことを伝えます。

(ア) セルフジャッジで試合をしますが明らかなミスジャッジはオーバールールします、そしてオーバールールされたらポイントを失います。

(イ) 「レット」は自分がいうので、ボールが入ってきても勝手に試合を止めないでください。

(ウ) サービスの「レット」も自分がコールするので、自分たちで「レット」を言わないでください。

(エ) ウォームアップはサービス4本のみです。

それからラケットをまわして、誰がサーブするか、どちらのコートをとるか、を決めます。これを、「トスをする」といいます。

2) 試合球（ボール）をわたし、ウォームアップが始まったら審判台に上がります。両方の選手がサーブを4本打ち終わったら「タイム」と言います。タイムがかかると、そのまま試合を始める選手もいますが、ベンチにもどって水を飲んだりする選手もいます。両方ともコートにもどってくるまで待ちます。

3) サーバーがサービスをはじめようとし、レシーバーが構えたら、「プレイ」と言います。

4) どちらかが得点するたびにスコアを言います。スコアのアナウンスはいつもの通りでいいですが、ポイントが終わったらすぐに、両方の選手に聞こえるような大きな声で言います。

例：15-0（スコアが確かでなかったら、両方の選手に確認してもいいです）

5) スコアカードを記入については別紙を見てください。

6) ゲームが終わり、中村選手がそのゲームをとったら、「ゲーム中村、ワンオール」または、「ゲーム中村、中村リード 2-1」のように、そのときのスコアをいいます。

7) 試合が終わったら、「ゲーム、セット、アンドマッチ、中村、6-4」などと言います。選手が握手にきたら握手します。

8) そして、審判台からおりてからスコアカードに勝者とスコアを記入します。

9) 勝者にスコアカードとボールを渡し、本部に試合結果を報告してもらおうようお願いするとおわりです。

● わからないことがあったら何でも大会レフェリーまたはロービングアンパイアに聞きましょう。